昭島市立拝島第三小学校「学校だより」　令和８年 10 月号

拝三小の教育

昭島市立拝島第三小学校
校長　松井　茂
TEL.042-541-1274　FAX042-541-7907

「言葉の力」　～コミュニケーションは心のキャッチボール～

２学期が始まり１か月が過ぎました。２学期最初に立てた自分の目標に向けて頑張っている様子を多く見ることができます。いつもすすんで挨拶をする子、隅々まで気にかけて掃除をする子、１日１回は発言をしようと努力している子、読書に挑戦している子など、紹介しきれないくらいです。今後も子どもたちの自尊感情が高まるよう関わっていきます。

「ひとつのことば」
北原 白秋

ひとつのことばで　けんかして
ひとつのことばで　なかなおり
ひとつのことばで　頭が下がり
ひとつのことばで　心がいたむ
ひとつのことばで　楽しく笑い
ひとつのことばで　泣かされる
ひとつのことばは　それぞれに
ひとつの心を　もっている
きれいなことばは　きれいな心
やさしいことばは　やさしい心
ひとつのことばを　大切に
ひとつのことばを　美しく

この詩は、一度は目にしたことがあると思います。北原白秋「ひとつのことば」という詩です。１学期の全校朝会でもこの詩をとおしてお話をしたことがあります。

本校では、「ふわふわ言葉・ちくちく言葉」として（学年の実態で言葉は違います）、人に伝える言葉について考え、お互い穏やかな気持ちになる言葉を選び使っていくことを指導しています。同じことを伝えるにも、どの言葉を選択するかでこの詩のとおり大きく違います。

言う側は、何気なく使ったなどと言うことが多くあります。しかし、その言葉で傷付き、その言葉を深く考えてしまう人がいることを知っておくことが何より大切です。それは、大人も子どもも同じです。大人だから使ってよいということはありません。コミュニケーションは、心のキャッチボールということを忘れないでいきたいと思います。

「投げるあなた」
相手の心に届くボール
相手がしっかり受け止められるボール
強すぎないか？　ゆるすぎないか？
それてしまうのではないか？
いろいろ考えて　あなたの心で

「受け取るあなた」
相手はどんなボールを投げてくれるだろう？
ちょっとそれるかもしれない
届かないかもしれない　オーバーするかもしれない
でも、しっかり受け止めようとする　あなたの心
＜心のノートより＞

今、子どもたちは、運動会へ向けて一生懸命練習に取り組んでいます。その中で、運動会当日をどのような姿で迎えたいか、終わりたいか、ゴールを意識して練習に励んでいます。その中で、お互いを励ます言葉やアドバイスを送り合っている姿など、子どもたちが考えた「みんなで協力して笑顔で運動会を楽しもう！」のスローガンの下、相手を思って声を掛け合いながら取り組んでいます。まさに、心のキャッチボールです。また、応援団など係の仕事を担当する高学年も陰の力として成功させようと、準備に頑張ってくれています。子どもたちの思いが詰まった運動会をお楽しみください。